

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (令和3年度)

法人名	社会福祉法人 見附福祉会	代表者	清水慶太郎	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設周囲に畑園芸を配し、四季の彩を楽しんでいただくとともに、園芸作業を通じて心身機能の維持・改善効果を期待しています。また園芸の運営には施設ばかりでなく、地域の方々にもご支援いただきながら運営しています。</li> <li>施設の中央部には「ベジタブルカフェ」と称したキッチン付きの開放空間を備えています。</li> <li>特別養護老人ホームとも連携しながら行事等も行っています。</li> </ul>
事業所名	ケアガーデン新幸	管理者	三沢 富子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	2人	1人	人	5人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の取組みを積極的に発信を行い感染対策を講じて地域との関りを増やしていく。	感染対策を講じながら、行事等に取り組んだ。また、ご利用者、ご家族と連携し、体調変化に素早く対応することができた。	こまめに連絡して頂いてありがたいです。	日々の様子、ケアの実践、気づきなどの取組みを、積極的に発信していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	検温、消毒、密を避ける等工夫し、安心してサービスを利用できるように取り組む。	換気の徹底や日々の体調観察を行い、清潔に、事業を休むことなく過ごせた。	不快な環境と、感じることは一切ありませんでした。コロナ禍の為事業所に入出入りすることは難しいですが、工夫を続けてください。	感染対策に努め、清潔で安全な環境と共に、温かみのあるしつらえの提供をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	オンラインでの交流を含め季節感が感じられるような行事の取組みを行う。	コロナ禍、地域の行事も縮小傾向だったが、季節感のある行事を実施できた。	スタッフの方は色々な行事に取り組まれていることが良く分かります。どんどんイベントに参加してほしいです。	オンライン面会や交流など時代に合った方法で、活動を止めることなく、行事に取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の認知症フェアに参加し地域の状況を知り、交流を深めていく。	葛巻フェスタや認知症フェアなど、お声掛けしていただき、楽しむことができた。	コロナ禍ですが、可能な範囲で地域に出られていると思います。	感染対策を講じ可能な範囲で地域に出向き、社会とのつながりが持てるよう交流していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	テーマを決めて活発に意見交換を行う。また、広報誌やホームページを活用し、活動内容を知っていただく工夫をしていく。	コロナ禍ではあったが、感染対策を講じて会議を行うことは出来た。テーマを事前にお知らせできず、状況報告が中心となってしまった。	いつもわかりやすく説明されています。動画にて、事業所の様子がとても分かりやすいです。	事前にテーマをお知らせして、活発に意見交換を行い。評価・意見をサービス向上に活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	近隣施設との連携や情報を共有し、防災意識を高めていく。	施設内の防災訓練の様子を、動画で報告できた。	フローラへの訓練もあり、普段から取組みられて良い事業所だと思います。訓練には参加はないが、動画で実践的な訓練が行われていることで確認しました。	昼夜を問わず安全に避難できる方法を職員が身につけるとともに、近隣施設との協力体制を強化していく。